

# 区政アンケート 結果報告

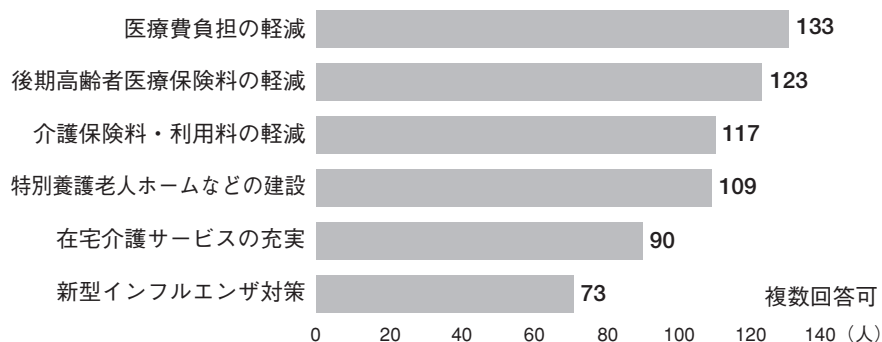
# たくさんのご協力をありがとうございました 区民の願い実現へ全力をつくします

区政アンケートには300人を超える方から返信がありました。アンケートに寄せられたみなさんの声を2010年度予算要望書に盛り込み、区へ提出しました。実現を目指し全力を尽くしてまいります。

以下、集計結果をご報告します。

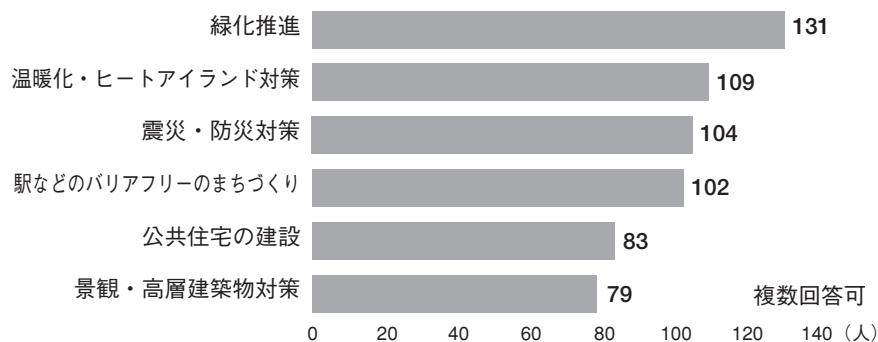
## 区政に力を入れてほしい施策は

### 医療・福祉・介護



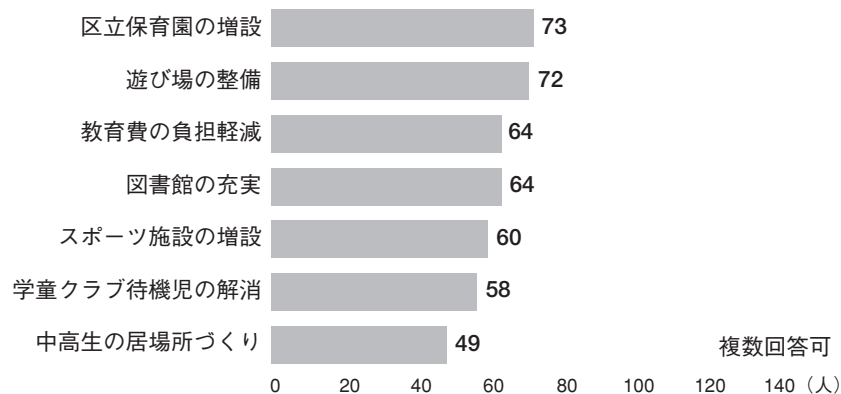
- 自民党時代の医療・福祉・介護の改悪を一刻も早く改善して欲しい。現場の弱い立場の人は大変困っております。(50代 女性)
- 障害者自立支援法のため、家族の負担が増えました。(60代女性)
- 特別養護老人ホームをとにかく増やして入りやすくして欲しいです。(70代男性)

### まちづくり



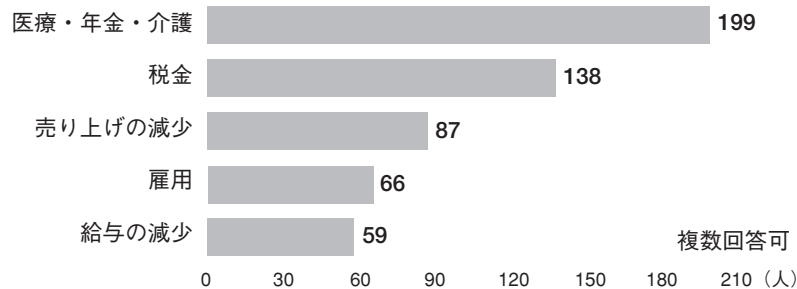
- スーパーが少なく、買物が不便です。毎日のことだから近くに何店か出来たら年寄りには助かります。(70代女性)
- 緑化推進が、ヒートアイランド対策につながると思う。醜い街づくりはやりたくない。(40代男性)
- 住宅地に100mの高層建築は許せません。(70代男性)

### 子育て・教育



- 千代田図書館にもっと子ども向けの企画・イベント・蔵書をお願いします。(30代女性)
- 子育て中の親として、子供がのびのび遊べる場所が無く、子供の成長に不安を感じます。(30代男性)
- 保育園の不足。働きたいのに預けられないので、今は託児所に預けてますが、料金が高く負担が大きいです。(30代女性)

## くらしの負担、不安に思っていることは



- 高額相続税を払えなく住む所もなくなりそうです。生活費も全部税金の支払いで毎日の生活に苦しんでいます。(50代女性)
- 売上げが去年の3分の2に減ってしまい、従業員の人件費及び社会保険料支払いが非常に苦しい。(50代男性)
- 祖母が要介護の状態ですが、母が一人”老老介護”をしており、心身共に母は疲れ切っています。(30代女性)

## 医療について困っていること。その実情


- 腎臓が悪く毎月注射をしています。一月おきに検査して薬を6種類飲んでます。一年の合計が8万円かかります。無料にして頂ければ有難いです。(80代女性)
- アレルギーがあり、毎月1万円前後の医療費が必要です。教育・医療・介護は他国のように無料化することで心身共に健康な国を実現できるように勝手ながら思います。(30代男性)
- 医療費の3割負担は年老いた私達には大変です。自家営業ですから国民年金です。年金だけでは生活出来ません。食べていくには仕事をしなければなりません。仕事をすれば税金を払い医療費も高くなりますし、年老いと病院へ行く機会も多くなり困っています。(70代女性)


### その他


- いろいろな所(体育館、社教、区宿泊施設)で民営化されているが、良くなっているか疑問。もっと区民にとって利用しやすいよう指導すべきでは。(50代男性)
- 商売をしているので、毎年決算の度にまとまった額の消費税を支払わなければならない。今後消費税率が上がれば商売が成り立たなくなるので、現在の5%でも苦しいが、絶対に上げないでほしい。(20代男性)
- 空き建物があればそれを区民が低家賃で住めるようにしてほしい。(70代女性)
- 進学したくても収入が不安定で我慢しなくてはならない人が無いようにしてほしい。(60代女性)
- 6月に派遣切りにあいました。若い人達で即戦力になるかもしれない人たちをなぜ雇ってくれないのか分からない。(30代女性)

## 法律・生活相談

身近な問題から法律相談まで、みなさんの立場にたって、ともに解決の道をさぐります。お気軽にご連絡ください。

 **木村正明** 九段南4-7-22 メゾン・ド・シャルー405  
3265-2979  
Eメール kimura24@agate.plala.or.jp

 **飯島和子** 富士見1-5-3 NTハイム406  
3222-7783  
Eメール kazuko4685@yahoo.co.jp

 **福山和夫** 神田小川町2-4 フィールドクレストビル10階  
3291-0232  
Eメール kfukuyama02@yahoo.co.jp

日本共産党千代田区議団控室(直通) ☎5211-4324

# 住みつづけられる千代田を 日本共産党千代田区議団だより

発行／日本共産党千代田区議団 九段南1-2-1 ☎ (5211) 4324 FAX (5275) 6898  
Eメール jcp-chiyoda@kamogawa.seikyuu.ne.jp



予算要望書を石川雅己区長に提出（左から 飯島和子・木村正明・福山和夫各区議、牛尾耕二郎区議団事務局長。12月22日）

二〇一〇年

くらしと平和を前進させる

一大運動をおこす年に

昨年は、自公政権に退場の審判がくだった歴史的な年となりました。今年は、自民党政政治に代わる新しい政治の中身をどうすべきかが、正面から問われる年になるでしょう。

この一年間は、「構造改革」で壊された雇用と社会保障をたて直す問題や、沖縄・普天間基地をめぐる平和の問題で、国民の一大運動が求められる年になります。

区政においても、たとえば後期高齢者医療制度の問題では、新政権が廃止を先送りしたことにより、四月からの保険料値上げを抑える運動をいっそう広げることが求められます。

日本共産党区議団は、ことしも平和とくらしを守る運動の一翼をになって全力をつくす決意です。

日本共産党千代田区議団

木村 正明  
飯島 和子  
福山 和夫

# と公約実現に力をつくしました

第四回定例会で日本共産党区議団は、「区政アンケート」などに寄せられた、区民の声を実らせる論戦を行い、建設的提案に力をつくしました。同時に〇八年度決算を区民の目線でチェックしました。

## 区民の悲鳴に正面から応えて

こそ自治体 代表質問 木村正明



「区政アンケート」に回答をいただいた中には、緊急を要するものも少なくありません。たとえば、

この声に正面から応えてこそ、自治体ではないでしょうか。区長に対して  
①民間マンションを一定数借り上げ、住宅で困っている区民に低家賃で提供すること。②家賃補助制度を拡充すること。③高齢等を理由に、入居を拒否しないよう賃貸人や仲介業者など関係者に働きかけること、の三つを緊急提案しました。

ば、こんな声です。「住居を借りていません。ビルの建て替えで出なければなりません。ところが、高齢のため、どこも貸してくれません」(七〇歳代・女性)。

区がその気になれば、すぐできることばかりです。区の貯金は六四〇億円(〇八年度末)。財源も心配ありません。実現にむけて、みなさんと力を合わせていきたいと思えます。

## 健やかな成長のための保育・教育施策を

一般質問 飯島和子

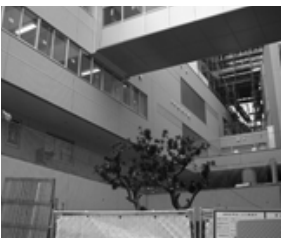


認可保育所増設、九段中等教育学校の問題に加えて、四月開設予定の富士見こども施設につ

いて質問しました。

富士見幼稚園と飯田橋保育園が合体し、「ふじみこども園」になります。子どもたちは、開設時には制度だけで

なく、場所・職員・友だちが大きく変化します。いずみこども園の教訓を生かし、子どもや職員に負担がないような準備を求めました。  
また、児童館は民営化され、(株)ポピュラスが運営する「わんぱく広場」となります。すでに株式会社が運営している千代田区のある児童館は常勤職員半数が勤続年数一年未満です。〇才から十八才までの子育ての地域の核となる児童館で、



完成間近の富士見未来館

職員の定着は大切な要素です。定着率向上のために、年収二〇〇万円足らずの労働条件などを改善することに区が取り組むことを強く求めました。

## 皇居内濠の水質改善と

牛ヶ淵の環境改善について

一般質問 福山和夫



区民集会では、皇居と周辺の緑と水面の景観は、歴史と文化の象徴、国民と区民の宝と強調され

ました。区民から濠水の水質改善を求める発言もありました。

透明度、化学的酸素要求量・大腸菌群数など調査で汚水状態は明らかです。トイレ水と雨水の合流式下水管から雨量の多い時、濠に放流、汚水の溜池となっているからです。

都下水道局は、①清水濠への放流は、雨水のみとなるよう分流式に②千鳥ヶ淵、桜田濠への放流は、別ルートに放流して止める等改善するとしています。

区に、周辺ビルや再開発の際に分流方式への協力を指導する。二〇一五年年度整備の目標達成に推進役となるよう求めました。

カワセミなど野鳥の見られる牛ヶ淵の改善策もあわせて提案しました。

## 九段中等教育学校

### 六年間の成長を支えられる学校に

「生徒ひとり一人の人生を大切に考えていく」として開校された九段中等教育学校で、九十九名もの生徒が転出しています(二〇〇九年一〇月現在)。

党区議団はこの背景に、学校の成績や出席率の他、納入金未納などで生徒に「転出勧告」ができるという「進級・卒業規定」が前期課程(中学)にもあることを明らかにし、一般質問と決算質疑でこの問題をとりあげ、規定の見直しを求めました。

区は「設立趣旨に照らして学校側とよく話し合っていく」と答弁しました。

「六年間、学び続けられないのでは一貫校ではない」という区民の声が広がっています。子どもたちの心を傷つけることのないよう、六年間の成長を支えられる学校にするための環境整備が求められます。



# 第4回定例会

09/11/18~12/14

# 区民の声をとどけ、要求

## 認可保育園の増設計画実現

全国的に保育所の待機児が増えるなか、厚生労働省は、「待機児対策」と称して、一定の保育所面積の国最低基準（乳幼児の成長と安全のために設けてきた基準）をなくし、自治体まかせにしようとしています。

これに対し、区民からは「国最低基準撤廃反対の意見書提出を求める陳情」が提出されました。党区議団は、「子どもを詰め込むのではなく、保育所増設で待機児解消をはかれ」と強調。区長の公約である「希望する保育所に入れるようにする」には「認可保育園の増設が必要」と繰り返し提案してきました。

こうした中、区は「次世代育成支援後期行動計画」（2010～15年度）に認可保育所を一園増設することを盛り込みました。

### 緊急整備も待ったなし

こんにち、区の待機児は約20名です。党区議団は、区の空き施設の活用などで、緊急に待機児対策をとるように求めました。



保育への要望を聞く飯島区議

## ◇口利き防止条例を提案



まちみらい千代田

「財まちみらい千代田」の職員採用にあたっての議員の口利き疑惑。人事への口利きはその組織の運営をゆがめ、活力をそぐことにつながります。党区議団は「口利き防止条例」の制定を求めました。引き続き、疑惑の真相の究明と再発防止に力をつくします。

## 〇八年度決算

### 区政の形ゆがめる

#### 二つの問題

第四回定例会で認定された二〇〇八年度決算。しかし区民の目線でチェックすると、区政の形をゆがめる大きな問題が浮き彫りになってきました。

#### 第一は

「構造改革」です。人件費の削減を最も大目的に、事業の民間まかせをすすめてきました。それが二つの弊害をひきおこして

#### 第二は

「都市再生」です。千代田区の地球温暖化対策の要は区全体CO<sub>2</sub>の排出量の四分の三以上を占める業務部門の排出量を抑えることです。ところが、区は、超高層ビル推進の「まちづくり」を進めるなど、温暖化対策に逆行しています。

います。ひとつは、低賃金のため民間職員が働き続けられなくなっていること。いまひとつは、職員採用のストップで、区職員の年齢構成が中高年に偏ってしまったことです。「職員の士気や事務執行への影響が懸念される」（〇八年度決算審査意見書）状況です。

## 二〇一〇年度の予算要望書を提出しました

区政アンケートにお寄せいただいたみなさんの声をまとめ、十二月二十二日に「二〇一〇年度予算要望書」（一二項目）を石川雅己区長に提出しました。

「予算要望書」のうちいくつかを紹介しましょう

#### ●福祉・くらし

・後期高齢者医療制度を廃止するよう国に求めること。

・介護保険料・利用料の減免の拡充をおこなうこと。

#### ●子育て応援

・国に認可保育所の最低基準緩和の撤回を求めること。

・区有地を利用して公立保育園の整備を早期におこない、待機児ゼロを実現すること。

#### ●まちづくり・営業

・区民住宅の供給をおこなうこと。

・地下鉄神保町駅、麹町駅、半蔵門駅などのバリアフリー化。

#### ●憲法と教育、その他

・区立図書館の蔵書数を増やすこと。

・不当な口利きを防止するために議員によるはたらきかけの記録や公表制度の整備。

